

昼夜の温度差が激しい季節になりました。温かい部屋で読書を楽しんでみるのはどうですか？今回は2人の先生のおすすめ本の紹介です。読書の秋を楽しみましょう♪



丹羽 晴菜先生  
14クラスの担任で、テニス部の顧問の先生。

## 丹羽先生のおすすめの本

「税金で買った本」 原作：すいの 漫画：系山岡

あらすじ  
小学生ぶりに図書館へ訪れた主人公の石平くんは、10年前の本の紛失をきっかけに図書館員の早瀬丸さんや白井さんと関わっていく。そこからアルバイトをすることになった石平くんが、図書館のしくみについて教えてもらったり勉強したり、真摯に仕事に向き合うようになる。

### ☆おすすめポイント

- ① 突は何をしているのかよく分からない司書の仕事について、漫画という分かりやすい形式で解説しているところ
- ② 「どうやったら利用者に気持ちよく利用してもらえるか考え、工夫することが大切」という仕事の本質を読み取ることでできるところ

この本を読んだきっかけ

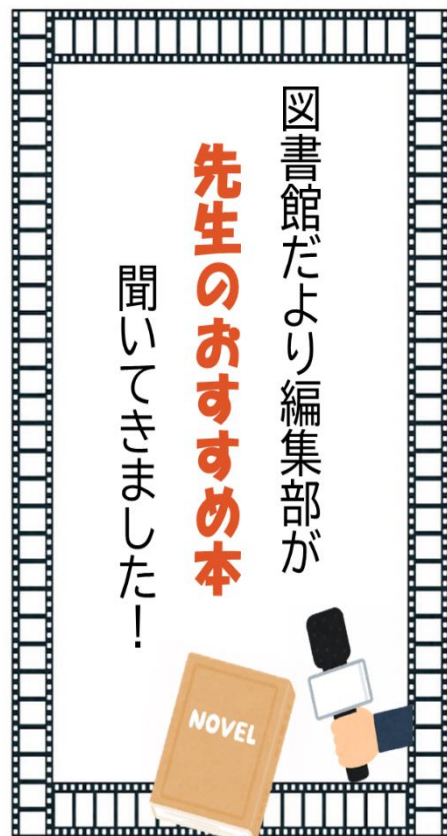
妹が司書の免許を取りたいと言ったことがきっかけで読み始めた



### ～編集後記～

2つ目のおすすめポイントを聞いて、とても驚きました。さくさく読めるこの漫画を読んで「仕事の本質」などという難しいことを考えていたからです。社会人ならではの視点だと思いました。

編集担当者 (川端)



丹羽先生、坂井先生  
インタビューにご協力いただき  
ありがとうございました！

坂井先生にインタビューしました！

おすすめの本

「余命一年の僕が  
余命半年の君と出会った話」 森田碧 / 著

坂井先生の紹介

- ・ 教科：数学
- ・ 部活動：演劇部
- ・ 先生の印象：いつも笑顔☺



～この本のあらすじ～

高校一年の冬、心臓病を患って一年の余命宣告を受けた早坂秋人。絶望してやる気を失ってしまった秋人は、通院先に入院する同じく余命宣告を受けた小女、桜井春奈と出会う物語。

切なくて儚い「期限付きの恋」の物語

～編集後記～

坂井先生が恋愛小説がミステリ系の小説を読まれる一面を知ることができました。

編集担当者 (向川原、清水)

## 秋の読書週間がはじまりました！

《期間：10月27日(日)～11月9日(土)》

いつもより、少し意識して読書の時間を作ってみませんか？  
図書館では読書週間を記念して、イベントや展示を行っています！

### ★文化祭でイベントを開催しました！

17日・18日の文化祭にて、図書館でイベントを開催しました。  
2日間とも多くの人に参加していただき、図書委員も司書もとても嬉しく思います。参加してくれた皆さん、ありがとうございました！